矢祭町立東舘小学校　学校通信　平成２２年度　第４号　発行者　校長　宍　戸　仙　助

わかあゆ

平成２２年４月３０日号

運動会で、南中ソーランを踊りたい。



現在の６年生が、昨年度の学習発表会から取り組んできた「南中ソーラン」の踊り。子どもたちにとっては、初めての体験でしたが、心を一つにして精一杯踊り、汗を流すことの喜びと醍醐味を味わうことができました。

その練習の様子を見て、５年生（昨年度の４年生）が、３月になって、「ぼくたちにも教えて欲しい。」と自分たちから６年生に申し込んだのです。その結果、卒業式間近の３月１９日に「東小ソーラン引き継ぎ会」として、子どもたちから子どもたちへの引き継ぎが行われたのです。

「子どもたちのこの熱意を、子どもたちの向上心につなげたい。」と、先生方で話し合っていました。そんな矢先、４月中旬になって、５年生数名が、校長室にやってきました。「運動会で南中ソーランを踊らせてください。」と言うのです。

「練習をする時間を取ることは難しいよ。」と、答えると、「昼休みなど、自分たちで練習するからいいです。４・５・６年生で、やらせてください。」というのです。また、６年生が教えていただいた、東舘石田にお住まいの鈴木創一様にも、子どもたちがお願いに行ったのだそうです。「この子どもたちの熱意を、なんとか良い形で実らせてあげたい。」そんな願いを込めて、学校が進んでいます。

春休み中のできごと、その①



昨年度、保護者の方々にも協力していただき、応援クリックの数が全国でＴＯＰとなり、昨年の１２月にクリスマスプレゼントとして連絡のあった「JWORDの『本プレ』」。２０万円分１７８冊の本が、３月中旬に届き、贈呈式の準備をしていましたが、JWORDでは全国５カ所のすべての学校に出向くことができず、東舘小学校では、校内だけで贈呈式を実施しました。

素晴らしいプレゼントをいただき、「何かしらのお礼の気持ちをお届けしたい。」と考え、３月３０日、感謝状を持って、東京渋谷のJWORD本社に行きました。セキュリティーの非常に厳しいビルで、入るだけでとても苦労しました。同じビルの同じ階には「Google」の会社もありました。

社長さんの「古梶秀樹様」。４０代半ばの男前の凄い方でした。前に立っただけで身の引き締まる思いがしました。４０代という若さで、日本でＩＴ関連の大手会社の社長を努める方に出会えただけでとても幸せな思いでした。その様子も含めて、東舘小学校が、JWORDのインターネットサイトでも紹介されています。是非、ご覧ください。

(http://www.jword.jp/campaign/honpre/0809/report_fukushima.htm)